

竹早だより

平成26年度 7月号
平成26年7月18日
東京都立竹早高等学校
文京区小石川4-2-1
電話03(3811)6961

私の受験勉強法

校長 高田 純一

嵐の体育祭が印象的だった1学期が終了します。まず、この1学期を各自静かに振り返ってみましょう。学習への取り組みは十分だったか、部活動に真剣に取り組んだか、友だちに対する接し方はどうだったか、家族との関係は良好だったかといった点です。もし、不十分な点が見つかったら、今後どう改善していくのか具体的に考えましょう。だれにも言う必要はありません。自分の中で整理できていればいいと思います。

それを踏まえて長い夏休みをどう過ごすのかということですが、各自の計画は具体的にきちんと出来上がっているのでしょうか。今年こそ、これまでにないほど充実した夏休みになるようにしてください。9月には一回りも二回りもたくましくなった姿を見せて保護者や先生を驚かせましょう。

さて、ここでは「私の受験勉強法」を紹介します。もう40年近く前の体験ですが、多少でも参考になれば良いと思います。

受験勉強のスタートは赤本（過去問）からと考えます。まず、ある年の問題を実際に時間を計って解いてみます。理科や社会でまったく習っていない分野がある場合には、解ける大問だけ解いてみて、他は類推するという方法でいいでしょう。すべて解いたら自己採点します。配点も考慮して得点を出してみます。すると「合格最低点」との差が判明します。例えば60点足りないとしたら、試験までの残り期間を考えて、どの科目で何点上積みするか、積算していきます。国語で10点、英語で20点、社会で30点などとすれば、「社会を完成させ、残りは英語に全力投球」といった基本戦略が浮かび上がってきます。孫子が「彼を知り己を知れば百戦殆（あやう）からず」と言ったように、彼（入試問題）と己（現在の實力）の差を具体的に把握するのがスタートです。

次に、手持ちの教材がどの程度役に立つのかを調べます。一番わかりやすいのが社会などで、例えば「教科書」を見ながら解いたら、何点アップするか調べます。教科書を見ることで80点取れるとわかれば、教科書をマスターするという目標がはっきりして勉強がしやすくなります。残りの20点をどうしたら取れるか、手持ちの教材を調べていきます。授業プリントで5点アップ、史料集であと5点、しかしそれ以上増えないとすれば、90点が限界ということになります。また、ある教材を見ても少しも得点が増えないとしたら、その教材は思い切って捨て去るべきでしょう。

本当に自分に合った使える参考書は5冊に1冊という感じです。

最後に「赤ボールペン勉強法」を紹介します。問題集を解いて赤ボールペンで自己採点します。するとボールペンの芯が減っていきます。一本空になると棚に陳列します。これが面白くて確か一夏で5~6本空にしたと思います。こんなことで別人のように成績がアップしたのですから人間とは奇妙です。どこかの教材の「がんばったねシール」なども意外に侮れないかも知れませんね。

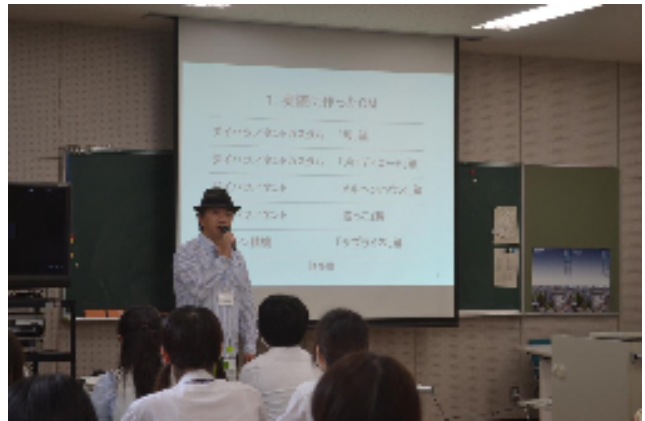


篁会特別セミナー実施される

7月15日（火）5・6時間目、2学年を対象とした今年度の「篁会特別セミナー」が実施されました。この日のために14名もの先輩が駆けつけてくださいました。どの方もそれぞれの業界で中核となって活躍している方ばかりです。竹早高校という伝統校の力をまざまざと感じさせられた1日となりました。

自分のミッションを達成したとき、そして人々に喜んでもらえた時に最高のやりがいを感じるというある講師の言葉が印象に残りました。

私たちは、お医者さん、弁護士さんといった職業名で人を呼称する場合があります。外見からもそのように呼ぶことがしっくりくるわけですが、最初から何かであったという人はいません。子どものときは皆、普通の子供です。偶然に左右される面はあったとしても、結局は自分の意志で「選び取った」職業なのです。みなさんはどんな職業を選び取っていくのでしょうか。



7月・8月の主な行事予定

〈7月〉

18（金）終業式・大掃除・避難訓練

21（月）**海の日** 夏季休業日始

〈8月〉

20（水）ブリテッシュヒルズ（1）始

22（金）ブリテッシュヒルズ（1）終

31（日）夏季休業日終